(183)

高橋副総裁ヘ

発信　三月十四日午后十時

第七十号

政府ヨリ左ノ通発電被命タリ
只今倫敦発行銀行ヨリ鄭重ナル祝電ニ接シタリ右ニ対本大臣ノ深厚ナル謝意ヲ貴君ヨリ夫々伝達セラレ度
ロスチヤイルド及ゴルドンヨリモ丁寧ナル祝電ニ接シタルニヨリ返電ヲ発シ置ケリ又今日衆議院ニ於テ或議員ヨリ五分利公債発行ニ付攻撃的ノ質問アリタルニ付政府ハ時機ニ於テモ価格ニ於テモ最適当ヲ得タリト信ズル旨ヲ直ニ答弁セリ

時事新報、東京朝日等二三ノ新聞ニハ多少反対ノ評論アレドモ一般ハ歓迎致居ルモノト認メラル

高橋副総裁ヨリ

三月十五日午前九時半

電信

十二号

當方電信第七、四四號ハ七四〇號ノ誤因テ

餘分ノ金高返上致度係員ノ粗漏ヲ謝ス

日本銀行

日本銀行

(185)

高橋副総裁ヨリ

三月十五日午前九時半

受信

第五十五号

貴電第六十九号領承謹テ感謝ス　御傳言ノ趣直ニ英佛関係者ヘ通致置ケリ

日本銀行

日本銀行

高橋副總裁宛

三月十五日午後四時

受信

九號貴電四號落手添田總裁ノ出發ヲ
五月初便船ニ取極置レ拙者廿八日東京市
着ノ上一日面談ノ時間アレバ十分ナリ此際小
生出發ハ當國人心ニ取リ最適當ノ進退ニシテ
且添田總裁ニ紐育ニテ面會スルハシッフニ對
スル都合却テ宜シカラズ又添田總裁仕事ノ
時機ハ早クシテ七月然ラザレバ十一月頃ナラント
存候　高橋

紐育 小野監督役ヨリ

電信

第五十四号

當地公債申込額五〇〇、〇〇〇内三八五、〇〇〇ハ借換申込市場ノ人気ハ芳シカラス

日本銀行

日本銀行

高橋副総裁へ

三月十五日午后一時

発信

第七十一号

政府ヨリ左ノ通発電被命タリ
貴君帰朝ノ義ハ公債ノ用向取片付タル上ハ申出
ノ通貴地ヲ出発セラレテ差支無之残務ハ差支ナキ
様神鞭書記官ヘ引継オカレタシ又添田総裁
ハ四月三日ノ船便ニテ出発ノ筈ニ付貴君ハ紐育ニテ
待合添田ト会談セラルベシ右井上伯ヨリモ特ニ注意
アリ又兼テ御申越ノ財政代理官ヲ派遣ノ義ハ徐々
詮ヲ極メタリ各方面共異議無之

日本銀行

高橋副總裁ヨリ

三月十六日午前八時

受信

第五十六号

貴電第七十一号顧案細目ニテ深田總裁ニ面會スルハシッフ氏トノ関係上不利益ト相考間深田氏出發ハ小生東京着後ノ最近便ニ定メラレタシ

日本銀行

(190)

高橋副総裁へ　　三月十六日午后三時卅分

森信

め号

貴電外五千六百万ノ繰延ニ関シ某大蔵大臣ハ貴電
ノ如ク保田副総裁ヨリ四月三日出発ノ事ヲ
ミツツニ打合セシメタルニ昨夜ミツツヨリ其来着
ヲ希望スル旨返電アリ然ルニ小生ガ大蔵大臣ノ希
望セラルル所ヲ推察スルニ貴君ト保田ト紐育外ノ
地方例ヘババンクーバー迄ニテ御会合ノ御積ナラ
バ此電發ス四月三日ノ便ノバンクーバー着ハ
四月廿日ノ豫定ナリ

日本銀行

(同文)

高橋副総裁ヘ

三月十六日午后三時半

来信

如左

米電沖五十六号ノ趣巨細了承大蔵大臣ハ米電
カ号ニ依リ深田総裁ヨリ四月三日出発ノ事
ヲシツクニ打合セシメタルニ昨状ニツクヨリ其未着
ヲ希望スル旨返電アリ然ルニ小生ガ大蔵大臣ノ
希望セラル所ヲ推察スルニ貴君ト深田ト紐育外
ノ地方例ヘバパヒクーパー辺ニテ御会合ノ御都合
ハ叶申間敷哉四月三日ノ便ノパヒクーパー着ハ
四月二十五日ノ予定ナリ

日本銀行

日本銀行

高橋副總裁ヘ

發信　三月十六日午後三時半

第七十二号

政府ヨリ左ノ發信ヲ命セラレタリ

新外債払込ニ関シ通達セシ事項中第四項政府手取金ニ五分利付公債証書ヲ以テセラルヘキ旨アリ運用勘定ト称スルモノ取消シ右ハ受入ト同時ニ償還ノ整理ヲナス都合ナリ

高橋副総裁へ

三月十六日午后五時卅分

発信

廾号

大蔵大臣ハ財政代理官トシテハ若槻次官ヲ推薦ノ内意ニテ各方面ト協議シ異議無之但井上伯旅行不在中ニ付未タ確定ニ至ラズ拙者ヨリ右ノ意味ヲ申進貴君ガ必要ト認メラルヽ向ヘ都合宜敷話置レタシトノ内命有之

拙者（高橋）ハ帰朝ノ電命ニ接シタリ就テハ日本政府ハ外債増加ノ事情ニ鑑ミ其信用ヲ維持シ外債所有者ノ利益ヲ保護スル為拙者ノ建議ニ基キ非常ニ有力ナル財政代理官ヲ派遣

ニ置ノ必要ヲ認メ目下其人選ニ付テ熟考中ナリ
拙者ノ信ズル所ニ拠レバ政府ハ多分現任大蔵次
官若槻氏ヲ派遣（別ニ理事一人増置ノ筈）ス
ルコトニ決スルナランカ同氏ハ多年大蔵省ニ在
近年税法ノ改正ハ専ラ同氏ノ担任セシ所ニテ
現内閣成立ノ際抜擢セラレテ次官トナリシ人
ナリ政府ハ同氏ニ托シ戦時税ノ改正其他重要ノ
財政改革案ヲ携ヘ調査セシムル筈ナリト云フ
尚又若槻氏ハ多ク佛國ニ在テ近世欧州諸国
財政改革ノ状況ヲ参考トシテ調査スル筈ナリ同
氏ト神野書記官トノ関係ハ追テ確定ノ上
打合セラルヘキニ付貴君ヨリ神野氏ヘ傳言
相成度

高橋副総裁ヨリ

来信

第五千七百号貴電銭七千七百万円居手持ニ受入ル六分利付公債ハ四月五日限リ利札ハ旧所有者ノ手ニ残ス様事ゝ御承知相成度

日本銀行

(194)

高橋副領事ヨリ

三月十七日午前八時

電信

二号

当電め号ミ号旅手係内田領事四月三日横濱発西比利加丸ニテ出発スレバ四月二十日香港着ノ豫定ナリ然ラバ担当者ハ四月二十三日香港発コレアニテ帰朝スル事ニ致四月二十日頃香港ニテ待合スベシ尤モ担当者ハ四月十五日晩香坡発エムプレス・オブ・ジャパンニ船室既ニ取極候

同事更ハ早ク要ス

日本銀行

(195)

高橋副總裁へ

三月十七日午后一時

発信

より

先電ニテ申越候件總裁ヨリ貴諭ノ通
四月三日亞米利加丸ニテ出発可致併テ御厚意
ヲ謝スル旨申出有之　左様御承知相成度

日本銀行

日本銀行

高橋副総裁殿

三月二十三日午前七時

売債

沖五千円了

今回ノ五分利付公債募集ニ付倫敦発行銀行が
申込人ヨリ受取ルベキ六分利付公債ハ額面六九二〇、二〇〇磅
ニシテ発行銀行ヨリ政府ニ上納スベキ現金左ノ通
三月二十八日　三五二、一五七磅　五月十三日　九一五、九七〇
六月十二日　九一五、九七〇　七月四日　九一五、九七〇
八月十二日　八九三、〇七一　合計　三、九九三、〇九八磅
ト相成　此内第一回上納金ハ発行銀行ノ手数料
4% 即チ四六〇、八八〇磅及六分利付公債額面
一〇〇磅ニ付一磅十志　即チ一〇三、八〇三磅ヲ差引

タルモノナリ又ロスチヤイルドヨリ第一回上納ハ三月二十九日
ト確定セリ又償還スヘキ六分利公債利子ハ四月
六日ヨリ九月十日迄日割ヲ以テ支拂事ト御承知
可成度(明治二十八年八月十七日承所高岸龍壽方
書状御参考)

高橋副総裁ヘ

三月二十六日午前八時

電信

第五十九号

拙者三月二十七日当地出発可致ニ付五分利付公債新券製造ニ関スル件等残務ハ神野並理事ニ託シ又六分利付公債割引買入ニ関スル正金銀行紐育出張所及横濱支店ノ取扱方ニ付テハ一ケ月間吉井理事ニ監督ヲ託置候

日本銀行

高橋副總裁より

受信　三月三十一日午前十時

一号

大隈伯ヘ左ノ通リ傳言方乞フ

御依頼ノ出版物ハタイムス新聞社ニテ出版費用ヲ負担シ同社見込ノ通英米ニ於テ二万部ヲ賣得ルナラバ原稿ニ対シ二、〇〇〇磅位拂得見込ナルモ全体ノ原稿料ヲ見サレバ出版引受ノ約束ヲナス能ハズト云フ右ニテ宜敷候ハバ出版ノ時機ヲ失セサル様原稿全部ヲ本年五月末マデニ在ロンドン柳谷氏迄送付ヲ要ス折返電報相成度

日本銀行

吉井理事ヨリ

二月二十二日午後五時

來信

第百一号

當月十四日突然紐育ニテ生シタル鉄道株ノ暴落即チ富豪恐慌ハ直接間接ノ原因今以テ明ナラス同日「ベルリン」取引所モ半恐慌倫敦取引所モ今モ混乱シ「コンソル」ノ如キ四十年未曾有ノ八十四磅台ニ下リタルモ幸各地トモ直ニ回復ニ傾キ大事ナカリシモ當地市場ノ神経尚鎮静セス前週以来英佛独中央銀行金利引上ニ関スル噂アリタル處果シテ本日佛國銀行割引歩合三歩ヨリ三歩半ニ騰貴

セリ英米等援如何ニモ低廉金貨流出ノ強迫
甚敷金融ノ大勢縮盤陥恐一昨日發表ノ
「アーヂエンチイン」公債不景気ノ模様日本公
債然際如此成績挙ケタルハ日本公債英国
公衆ニ人望有之証據ナリト好評嘖々併若
両三日發表延引セハ果シテ如何ナリシヤ天佑共
賀ノ至ニ不堪候

高橋副総裁より

受信　三月二十三日午前七時

第六千号

佛国ニ於テ発行ノ公債証書印紙税二、九六六、
三一日法 三月中ハ旧法ニ依リ税率 1% 十七日我公
債額面ニ超過ヲ生スル為メ左ノ通御成度

無線電ハ殆ント無力ニシテ折々通信セリ

三月一日 三四五ニ [illegible] [illegible] 十一時 [illegible]

[illegible]

[illegible]

三四卅三日午後九時

[illegible]

[illegible]

高橋副総裁ヨリ

三月二十七日午前八時

電信

第六十号

六分利付公債ヲ以テ払込ヲ為ス者旅中其他ノ事故ニテ右債証書ヲ期日迄ニ発行銀行ヘ納付セザル者有之可ク是等ハ発行銀行ヲ督促ノ上受入次第代理店ヘ納付致度旨申出候不得止儀ト存候ニ付聞届置候間左様御承知相成度

日本銀行